

令和元年5月26日
(一社)地図協会

2019年度事業報告

2019年度の地図協会は、定款に定める目的に従い、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業執行状況について報告します。

I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業(実施事業)

1. 「測量の日」関連事業

国土交通省では、測量についての意義及び重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的として、平成元年から6月3日を「測量の日」と定め、測量・地図に関する情報、知識を国民に普及、啓発する広範な運動を展開している。

2019年度は、国土地理院関東地方測量部および当協会を含む関係団体で構成する、「測量の日」東京地区実行委員会が主催して、第27回「くらしと測量・地図展—地図と測量で振り返る平成—(災害と技術革新の時代)」を令和元年6月5日(水)～6月7日(金)の3日間、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて開催した。

当協会は、地図等の普及促進に役立つよう、当協会会員の協力を得て、基本図のPRと地図教育・防災関連主題図等に関するパネル・会員名簿展示や巡検の旅チラシ及び世界地図と日本地図を各500枚づつ配布した。来場者は、10,200人であった。

2. 「地図展」の開催

地図展は、広く国民に地図を通して国土や地域について理解と親しみを深めていただくとともに、より一層地図に親しみ、地図を利用いただくことを目的に、毎年一回全国の主要都市で開催している。

2019年度は、例年通り一般財団法人日本地図センターを中心に当協会を含む関係7団体の「地図展推進協議会」主催で、「地図展 2019 近代京都 150 年を俯瞰する」を9月13日(金)～9月23日(月)まで琵琶湖疏水記念館(京都市左京区南禅寺草川町17)で開催した。

当協会としては、主催団体の一員として協力した。来場者は、4,000人であった。

3. 近代測量150年記念事業への協力

近代測量150年の節目に当たる年に、この間の測量・地図作製の発展を振り返るとともに、未来を描く起点となるような、いわば測量・地図作製の「温故知新」となる近代測量150年記念事業を実施した。

(1) 「測量って何？」小・中学生向き教材を作成・配布

「近代測量150年という節目の年に、子どもたちに測量や地図のしごとが、暮らしを支えるなどの様々なことに役立っていることを伝える」ことを目的に、「測量・地図に関するこれまでの取組を踏まえ、どのようなものをつくってきたか、それがどのように役立っているのか」をわ

かりやすく伝える教材「地図と測量の世界へようこそ」を作成した。

この教材の作成にあたり、教材製作・活用委員会のメンバーとして当協会の峰村理事、田中理事が参画して協力した。

(2)「測量・地図 150 年史(仮称)」を編纂

当協会は、小島理事長、安藤業務執行理事及び前野理事が協会の沿革をまとめ、測量・地図150年史「補編」へ掲載した。

(3)その他の記念事業

国土地理院が中心となって関係団体が協力して以下の行事を実施した。

○新旧の地図、測量機器等を展示

令和元年9月22日(日)から12月8日(日)まで新宿区立新宿歴史博物館において、新旧の地図や測量機器等を紹介した特別展「近代測量 150 年測量×地図 測り・描き・守り・伝える」の展示を行った。

○ 測量・地図の魅力伝える写真展を開催

「測る人・描く人・守る人の魅力を伝える」をテーマに測量や地図作製において「測量の現場で働く人たちの姿」や「測量器材を活用している場面」、「地図を活用している場面」等の写真を募集し、コンテストを行った。入賞作品は、新宿区立新宿歴史博物館において展示した。

審査結果は9月17日(火)に公表(報道発表)するとともに、近代測量 150 年記念事業推進会議のホームページに掲載した。

○ 新旧の測量スポット探訪ウォーキングツアーを開催

「近代測量 150 年記念事業推進会議」(以下「推進会議」という。)では、記念事業の一環として、新旧の測量スポットを辿りながらその役割等を参加者に知ってもらうことを目的に、神戸と東京において「新旧の測量スポット探訪ウォーキングツアー」(以下「ウォーキングツアー」という。)を開催した。

このウォーキングツアーでは、参加者に測量に関する様々な史跡・施設や自然災害伝承碑の測量スポットなどに足を運んで見ていただき、各測量スポットにおいて説明を行った。

○ 測量技術の歴史を体験できるイベントを開催

(一社)全国測量設計業協会連合会会員の各都府県の測量設計業協会などの協力を得て、令和元年5月から11月に「測量技術の歴史を体験できるイベント」を開催した。開催にあたっては、各団体で行っている「測量の日」を中心としたイベントや体験学習などに「近代測量 150 年」を冠して、150年の歴史を伝えるとともに、若い世代をメインターゲットに測量技術が社会を支える姿を知っていただくことを主眼として行った。

(4)その他

当協会の峰村理事が当事業実行委員の監査として選任され、令和2年3月30日に近代測量 150 年記念事業推進会議の会計及び事業にかかる監査を実施し、適正な執行である旨報告した。

4. 児童生徒地図作品展の後援・表彰及び地図教育支援活動の推進

国土地理院並びに会員の要請を受けて、地域文化事業の継承と地図理解の向上のため、地方自治体等で開催する児童生徒地図作品展について後援及び表彰を行うとともに、地図教育支援活動を積極的に推進した。

2019年度の児童生徒地図作品展の後援及び表彰は、以下のとおりである。

(1)「第58回地図ならびに地理作品展」の後援

主 催 広島県地理作品展運営委員会

開催期間 令和元年9月7日(土)～9月21(土)

開催場所 広島市こども文化科学館 3階

国土交通省国土地理院・広島県等とともに後援し、一般社団法人地図協会賞として、広島県内の小学校の部、中学校の部、高等学校の部の優秀作品に、それぞれ副賞として複製伊能図を参加生徒に児童向け世界地図と児童向け日本地図をお渡ししました。

(2)「第33回札幌市児童生徒社会研究作品展」の後援

主 催 札幌市教育地図研究会

開催期間 令和元年10月13日(土)～14日(日)

開催場所 かるで2.7 札幌市北区北2条西7丁目

国土交通省国土地理院・札幌市等とともに後援し、一般社団法人地図協会賞として、札幌市内小学校高学年の部の優秀作品に、副賞として複製伊能図を参加生徒に児童向け世界地図をお渡ししました。

(3)「第21回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」の後援

主 催 鳥取県地域社会研究会等4団体

開催期間 令和元年11月9日(水)～11月24日(日)

開催場所 鳥取市歴史博物館、(やまびこ館)

国土交通省国土地理院・鳥取県教育委員会等とともに後援し、一般社団法人地図協会賞として、鳥取県内小学校の部優秀作品に、副賞として複製伊能図と参加生徒に児童向け世界地図をお渡した。

(4)「第13回大分市児童地域地図作品展」の後援

主 催 大分市小学校教育研究会社会科部会

開催期間 令和元年10月12日(土)～10月14日(月)

開催場所 コンパルホール市民ギャラリー

国土交通省国土地理院等とともに後援し、一般社団法人地図協会賞として、大分市内

小学校の優秀作品に、副賞として複製伊能図と参加生徒に児童向け世界地図をお渡した。

(5)「あこう絵マップコンクール」の後援

主 催 あこう絵マップコンクール実行委員会

開催時期 令和元年7月25日(木)～8月25日(日)

開催場所 赤穂駅ギャラリー、赤穂市民病院

国土交通省国土地理院とともに後援し、一般社団法人地図協会賞として、赤穂市内小学校の優秀作品に、副賞として複製伊能図を参加生徒に児童向け世界地図をお渡した。

(6)「第27回徳島県児童・生徒の地図作品展」の後援

主 催 徳島地理学会

開催時期 令和元年11月30日(土)～12月1日(日)

開催場所 徳島郷土文化会館(あわぎんホール)

国土交通省国土地理院とともに後援し、一般社団法人地図協会賞として、徳島県赤穂市内小学校の優秀作品に、副賞として複製伊能図と参加生徒に児童向け世界地図をお渡した。

5. 一般の方々へホームページから「月刊 地図の友」の発信

国土地理院発行の基本図(1万、2.5万、5万分1地形図、20万分1地勢図、小縮尺図等)及び数値地図(電子地形図25000等、数値地図(国土基本情報)、標高データなど)の月毎の新刊情報などを「新刊刊行」としてまとめ、情報提供した。

6. 会員の皆様へ専用ホームページ「協会たより」を開設

昨年度開設した会員用の専用ページを通じて、3か月先までの新刊刊行予定や販売に役に立つ情報、協会活動状況を情報提供した。

7. ホームページの改良

更新情報を自前で更新できるよう検討した。

8. 感謝状の贈呈

昨年度に引き続き、長年に亘って地図の普及・啓蒙にご努力頂いた方々に対して、国土地理院長から次のとおり個人及び販売店2社に感謝状が授与された。

株式会社ぶよお堂 測量事業功労者 岡崎 充男氏

株式会社 亀田書店、

企業組合 ライオン堂

9. 政府刊行地図等の販売支援

国土地理院刊行の地図等の販売を行う、(株)ぶよお堂、内外地図(株)の元売2社のほか、全国の地図販売店の会員に対して、販売を支援するため、刊行地図に関する定価等の問題・要望等

を取りまとめ、国の関係機関へ働きかけを行った。

(1) 国土地理院長へ要望書を提出

令和元年8月21日に、①正味回復の件、②5万分1地形図の内容更新、③天皇陛下御即位記念地図発行の事前PRと販促の承認について、要望書を提出した。特に、平成30年10月の定価改定において、物流正味を5%に上げたことに対して強く要請した。

(2) 国土地理院との意見交換会の開催

令和元年11月14日(木)午前10時から11時30分まで、関東地方測量部会議室において 国土地理院側は、沢辺契約課長、澤畠企画調整課長補佐、島田情報企画課長の3名、地図協会側は 小島理事長、安藤業務執行理事、小竹監事の3名で、「正味の回復について」の審議が行われた。内容については、今後も継続審議として、意見交換会を開催することで合意した。また、流通の実態を把握してもらうことを目的とし流通現場の体験を要望し了承を得られた。

II 政府刊行地図等の販売に関する事業(その他事業)

1. 政府刊行地図等の販売

地形図等及び数値地図の販売は、当協会会員を支援する主力事業であるため、厳しい状況であるが、会員との連携を強化し、一層の販売拡大、販路の拡大に努める。

また、学生・児童生徒の教育分野への利用拡大などを通じて紙地図の必要性を認識していただくため、関係機関に強く要請した。

地形図等及び数値地図の販売状況{(一財)日本地図センター販売分を含む}

国土地理院刊行の地形図等及び数値地図の一年間(平成31年4月1日～令和2年3月30日まで)の販売状況は、次のとおりである。

①地形図等販売状況

区 分	平成30年度	平成31年度(令元年度)	前年比
1万分の1地形図	3,003枚	11,730枚	391%
2万5千分の1地形図	345,209枚	258,500枚	75%
5万分の1地形図	66,076枚	46,500枚	70%
20万分の1地勢図他	12,592枚	11,950枚	95%
計	426,880枚	328,680枚	78%

②数値地図販売状況(CD-ROM版・DVD版)

区 分	平成30年度	平成31年度	前年比
2,500 (空間データ基盤)ほか	10枚	10枚	100%
25,000 (地図画像)	75枚	80枚	106%
50,000 (地図画像)	85枚	70枚	82%
200,000 (地図画像)	20枚	20枚	100%
250mメッシュ(標高)ほか	40枚	30枚	81%

国土基本情報(DVD版)	750枚	840枚	112%
電子地形図25000(DVD版)	990枚	1,250枚	126%
計	1,960枚	2,300枚	117%

2. 見学会等の開催

(1)「巡検の旅」の開催 11月10日(日)

第62回目を迎える「地図に親しむ巡検の旅」は、「埼玉・栃木・群馬三県境～くらしと水を訪ねて～」をテーマに、地図コラムニストの遠藤氏と国土交通省利根川上流河川事務所の三橋所長を講師に迎え、道の駅かぞわたらせーカスリーン公園(カスリーン台風決壊地)見学ー全国でも珍しい「歩いて行ける三県境」見学ー渡良瀬貯水地内の見学ー茂林寺見学(昼食)ー製粉ミュージアム見学ー道の駅どまんなかたぬまー羽生PAまで、地形図を片手に一日楽しい旅となりました。参加者は25名でした。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(受託)今年度は、実績はありません。

4. 執行理事会の開催

○定例会

平成31年 4月 9日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事、
2名、関係理事及び監事2名 計4名

令和元年 5月14日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、関係理事及び監事2名 計4名

令和元年 6月11日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、 計2名

令和元年 7月 9日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、関係理事及び監事3名、 計5名

令和元年 8月 6日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、関係理事及び監事2名 計4名

令和元年 9月10日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、関係理事及び監事4名 計6名

令和元年 10月 8日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、関係理事及び監事5名 計7名(拡大会議)

令和元年 12月10日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名関係理事1名、 計2名

令和2年 1月 8日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名、 計2名

令和2年 2月 12日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事
1名 計2名

○秋季第14回理事会

令和元年 11月20日 目黒区日本地図センター 報告事項、審議事項 執行理事、執行理事
及び監事

2名、関係理事及び監事5名 計7名

この理事会は、定款29条の過半数に満たなかったため、後日、郵送にて書面表決して賛成多数で承認された。

○臨時執行理事会

令和2年 3月24日 目黒区日本地図センター審議事項 執行理事、関係理事及び監事

1名、関係理事及び監事4名 計5名

以上